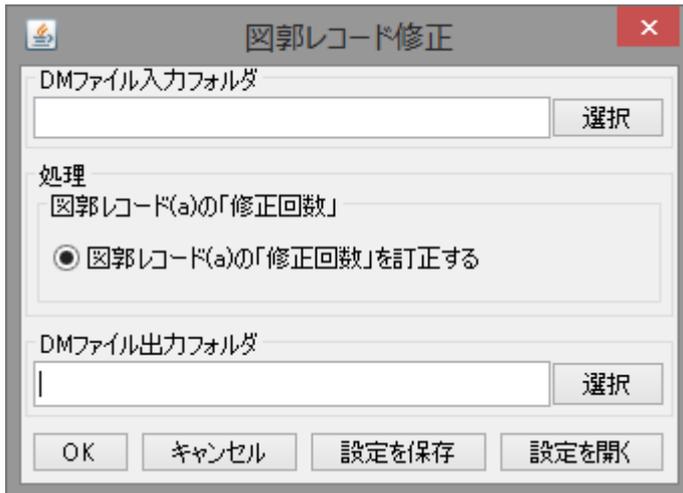


## 1. 図郭レコード修正

新メニュー「DM から DM」 - 「図郭レコード修正」を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。



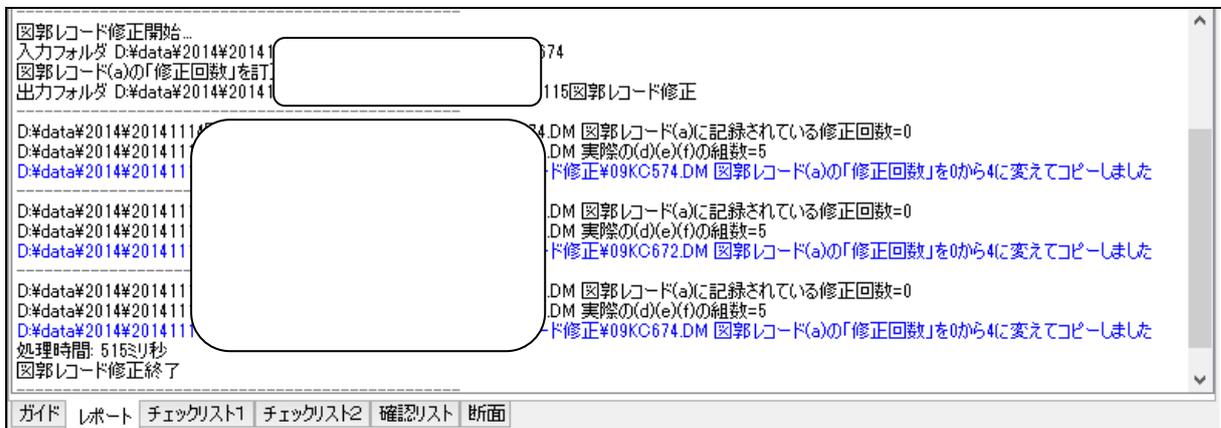
### DM ファイル入力フォルダ

DM データファイルを参照するフォルダを指定します。拡張子が.dm と.kih のファイルを参照します。

### 図郭レコード(a)の「修正回数」を訂正する

図郭レコード(d)(e)(f)の組が複数あるにも関わらず、図郭レコード(a)の「修正回数」の値が 0 となっている場合、(d)(e)(f)の組数を計算し、「修正回数」の値を訂正します。

ミスマッチがある場合、入力フォルダの DM について、図郭レコード(a)の「修正回数」の 2 バイトのみを変更し、他はそのまま同じバイトをコピーして出力します。



### DM ファイル出力フォルダ

DM データファイルを作成するフォルダを指定します。入力フォルダとは別のフォルダにします。処理した結果の DM ファイルを保存します。処理対象外の場合は、そのままコピーしたファイルを保存します。

## 2. 図郭レコード変更

メニュー「一括処理」・「図郭レコード変更」に「DM 修正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード」を追加しました。

図郭レコード(a)

ファイル名を図郭識別番号にする

ファイル名を図郭名称にする

タイトル名

図郭レコード(b)

図郭座標(2)に図郭座標(1)の座標を入れる

図郭座標(2)を空白にする

図郭レコード(d)

作成年月 0

現地調査年月 0

入力機器名

公共測量承認番号

測地成果識別コード 空白

図郭識別コード 空白

変換手法識別コード 空白

DM修正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード

--	--	--	--	--

図郭レコード(e)

作業機関名

OK キャンセル

### DM 修正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード

図郭レコード(d)の 74 列から 84 列までの内容を表示します。「DM ソフトウェアによる修正回数」で、修正がなければ空白、修正があれば 1,2,3,4,5 を記録します。修正回数に応じて変動理由コードが入力可能になります。変動理由コードは 2 文字までで、1 文字入力された場合は前に半角スペースを記録します。

## 3. 図郭レキード編集

各 DM データの図郭レコードを編集するメニュー「図郭レコード編集」に「DM 修正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード」を追加しました。

図郭レコード編集

図郭レコード(a)  
図郭識別番号 65-4  
図郭名称  
地図情報レベル 2500  
タイトル名  
修正回数 0

図郭レコード(b)  
左下X(m) -201000  
左下Y(m) -58000  
右上X(m) -199500  
右上Y(m) -56000

図郭レコード(c)  
65-4

(d)(e)(f)の組  
0, 0

図郭レコード(d)  
作成年月 0  
現地調査年月 0  
入力機器名  
公共測量承認番号  
測地成果識別コード 空白  
図郭識別コード 空白  
変換手法識別コード 空白  
DM補正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード

図郭レコード(e)  
作業機関名  
撮影コース

図郭レコード(f)  
コース番号  
年月  
縮尺  
枚数  
始点  
終点

追加 最後を削除

追加 最後を削除

OK キャンセル

#### DM 修正ソフトウェアによる補正回数と変動理由コード

図郭レコード(d)の 74 列から 84 列までの内容を表示します。「DM ソフトウェアによる修正回数」で、修正がなければ空白、修正があれば 1,2,3,4,5 を記録します。修正回数に応じて変動理由コードが入力可能になります。変動理由コードは 2 文字までで、1 文字入力された場合は前に半角スペースを記録します。